

長野県の金融経済動向

(2026年4月1日)

【概況】

長野県経済は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。

最終需要の動向をみると、設備投資は一部に弱めの動きがみられるものの、堅調に推移している。また、個人消費は物価上昇の影響などがみられるものの、底堅く推移している。住宅投資は弱めの動きとなっている。公共投資は振れを伴いつつも横ばい圏内の動きとなっている。

この間、生産は横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得は改善している。

企業の業況感は、改善している。

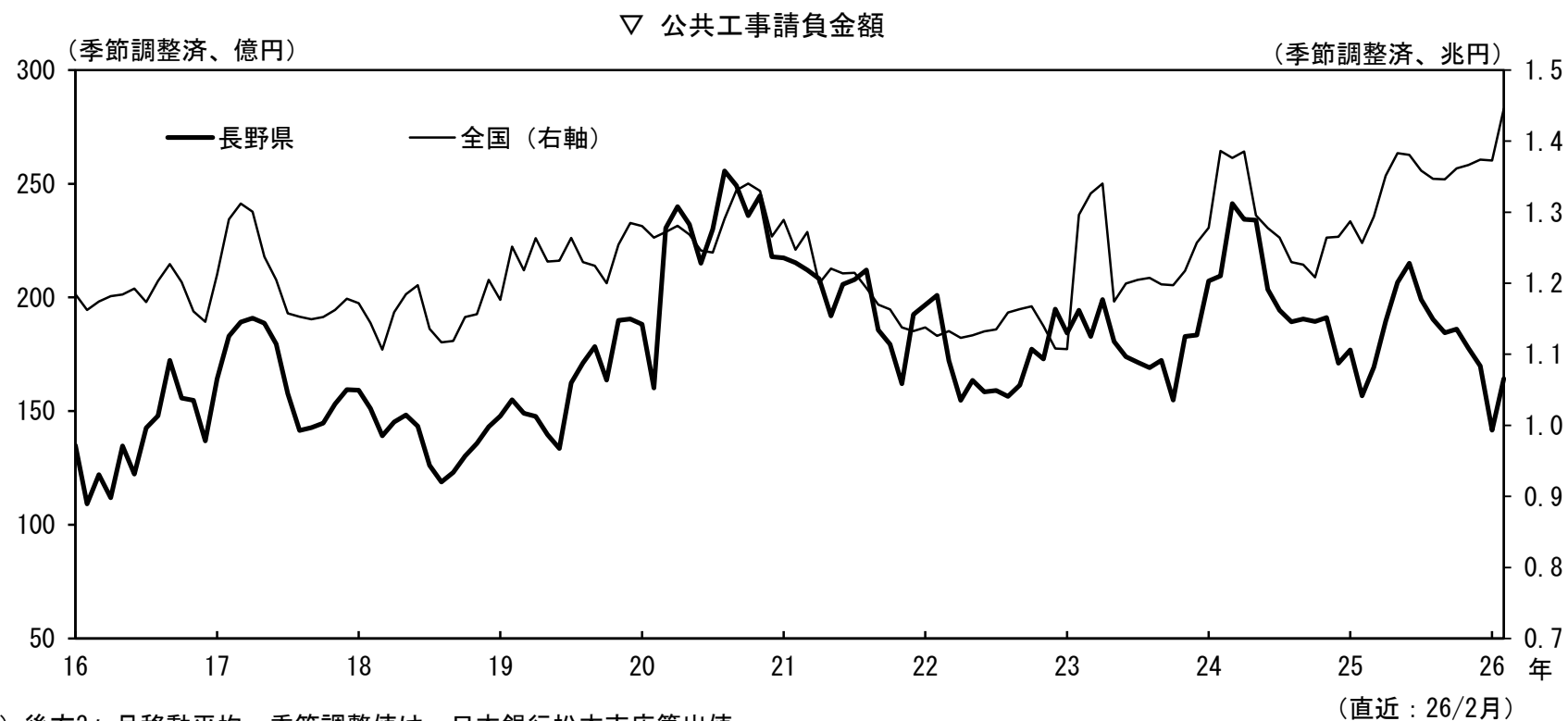
【前回からの変化】

26/3月	26/4月
<p>長野県経済は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none">・設備投資は一部に弱めの動きがみられるものの、堅調に推移している。・個人消費は物価上昇の影響などがみられるものの、底堅く推移している。・住宅投資は弱めの動きとなっている。・公共投資は振れを伴いつつも横ばい圏内の動きとなっている。・生産は横ばい圏内の動きとなっている。・雇用・所得は改善している。	<p>長野県経済は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none">・設備投資は一部に弱めの動きがみられるものの、堅調に推移している。・個人消費は物価上昇の影響などがみられるものの、底堅く推移している。・住宅投資は弱めの動きとなっている。・公共投資は振れを伴いつつも横ばい圏内の動きとなっている。・生産は横ばい圏内の動きとなっている。・雇用・所得は改善している。

1. 実体経済

公共投資

公共投資は振れを伴いつつも横ばい圏内の動きとなっている。



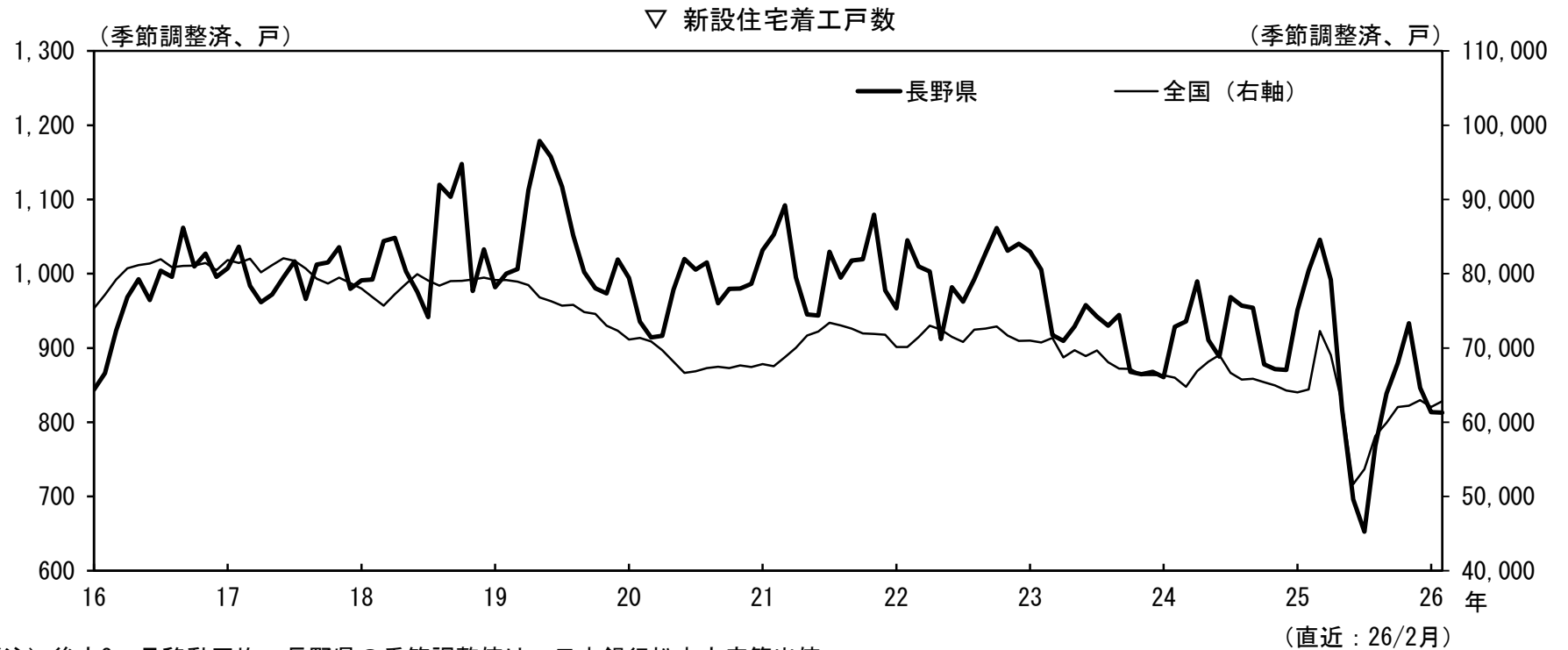
(注) 後方3ヶ月移動平均。季節調整値は、日本銀行松本支店算出値。

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

1. 実体経済

住宅投資

住宅投資は弱めの動きとなっている。



1. 実体経済

設備投資

設備投資は一部に弱めの動きがみられるものの、堅調に推移している。

設備投資は、26年度は前年度を上回る計画となっている。

輸出は、26年度は前年度を上回る計画となっている。

企業収益は、26年度は前年度を上回る計画となっている。

長野県

▽ 設備投資額
(前年度比、%)

	25年度 見込	26年度 計画
製造業	3.8	12.9
非製造業	- 6.1	- 7.0
全産業	1.9	9.4

▽ 輸出(売上高)
(前年度比、%)

	25年度 見込	26年度 計画
製造業	- 3.8	1.9

▽ 経常利益
(前年度比、%)

	25年度 見込	26年度 計画
製造業	- 24.6	5.0
非製造業	11.0	- 3.8
全産業	- 18.6	3.0

全国

▽ 設備投資額
(前年度比、%)

	25年度 見込	26年度 計画
製造業	9.9	2.6
非製造業	6.8	0.6
全産業	7.9	1.3

▽ 輸出(売上高)
(前年度比、%)

	25年度 見込	26年度 計画
製造業 <大企業>	1.6	1.6

▽ 経常利益
(前年度比、%)

	25年度 見込	26年度 計画
製造業	- 0.2	- 2.6
非製造業	3.4	- 2.2
全産業	1.9	- 2.4

(出所) 日本銀行、日本銀行松本支店「企業短期経済観測調査(26/3月)」

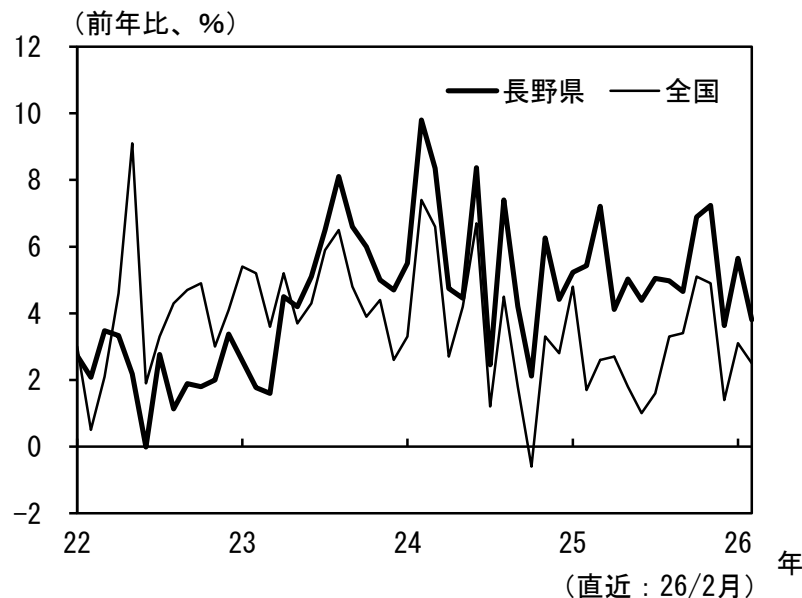
1. 実体経済

個人消費

個人消費は物価上昇の影響などがみられるものの、底堅く推移している。

県内大型小売店（百貨店、スーパー）売上高（当店調べ<店舗調整前>）は緩やかに増加している。家電販売額は堅調に推移している。新車登録台数は足もと弱めの動きとなっている。サービス消費は横ばい圏内の動きとなっている。

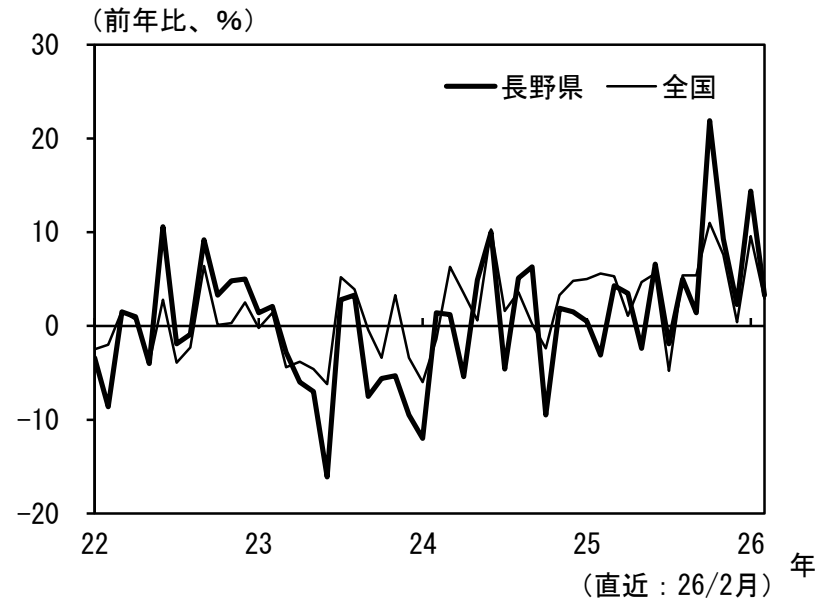
▽ 大型小売店売上高（百貨店・スーパー）



(注) 全国は、商業動態統計の年間補正に伴い、過去のデータを遡及改定。

(出所) 長野県：日本銀行松本支店
全国：経済産業省「商業動態統計」

▽ 家電販売額



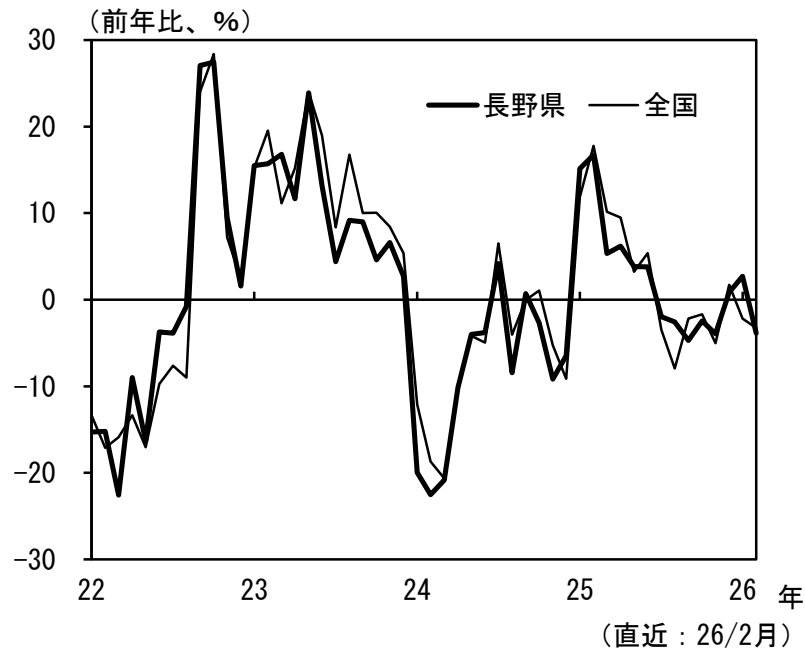
(注) 商業動態統計の年間補正に伴い、過去のデータを遡及改定。

(出所) 経済産業省「商業動態統計」

1. 実体経済

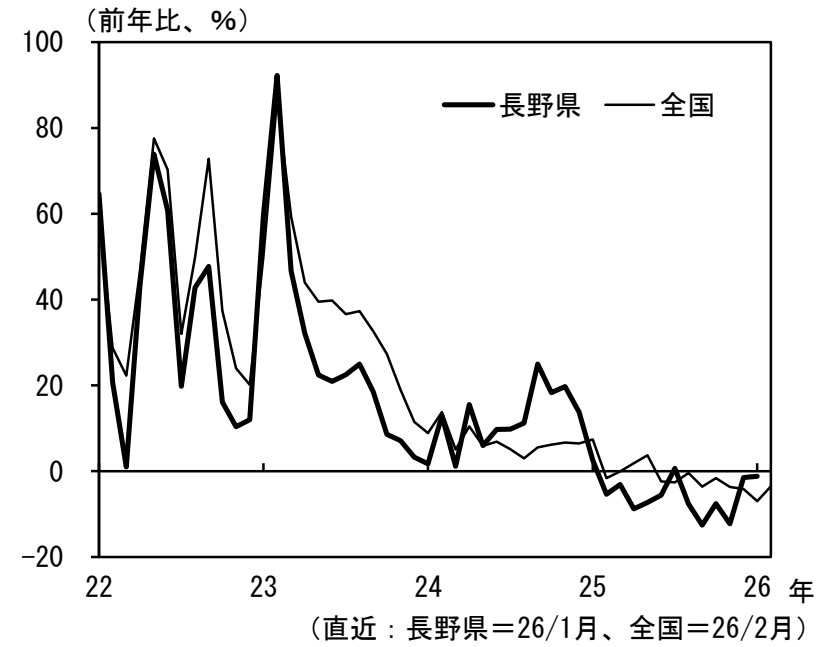
個人消費

▽ 新車登録台数



(出所) 長野運輸支局「新車新規登録台数」

▽ 延べ宿泊者数



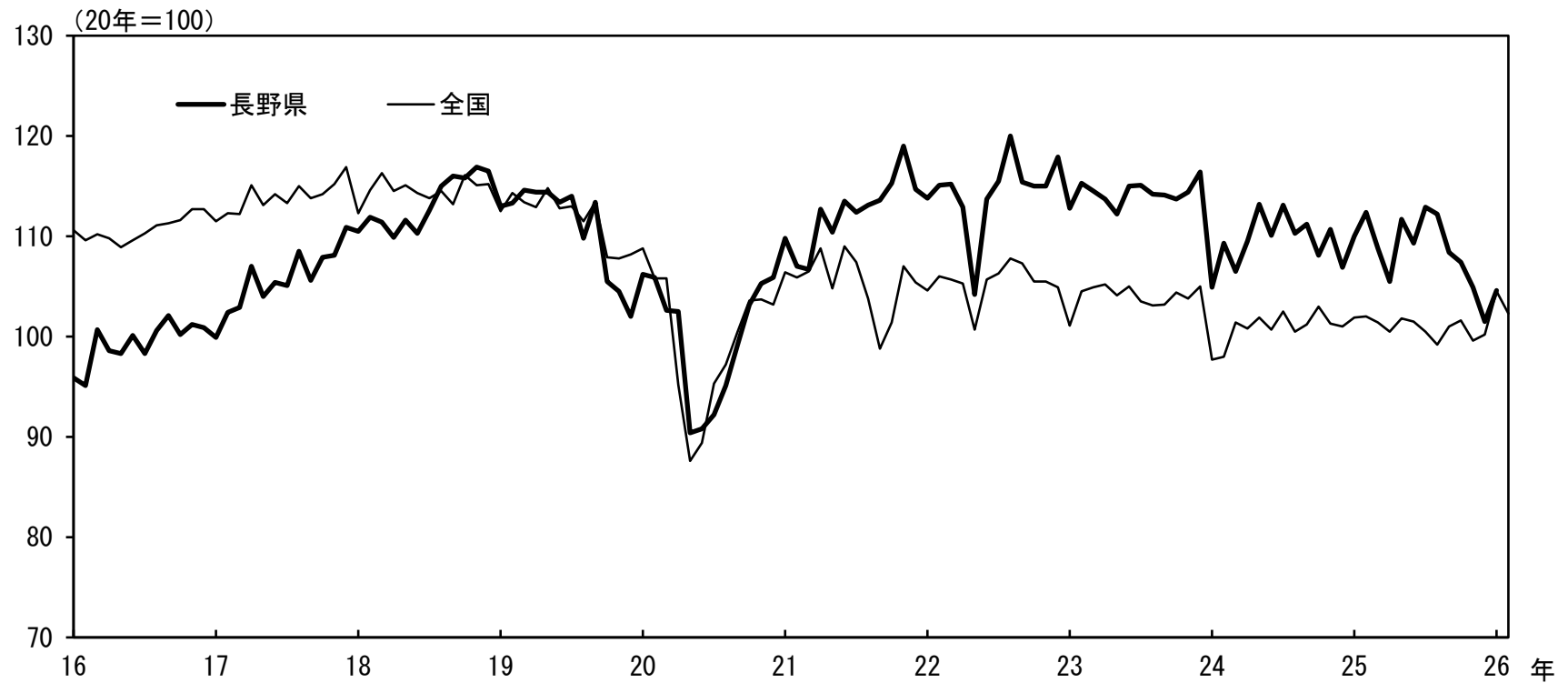
(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

1. 実体経済

生産

生産は横ばい圏内の動きとなっている。

▽ 鉱工業生産指数（季節調整済）



(注) 全国は、年間補正に伴い、過去のデータを遡及改定。

(直近：長野県=26/1月、全国=26/2月)

(出所) 経済産業省、長野県「鉱工業指数」

1. 実体経済

生産

半導体関連・電子部品等は下げ止まっている。

自動車関連は足もと弱めの動きとなっている。

機械・同関連部品等をみると、成形機は緩やかに増加している。計器、工作機械は持ち直している。バルブは堅調に推移している。

飲料は横ばい圏内の動きとなっている。

【前回からの変化】

26/3月	26/4月
半導体関連・電子部品等は下げ止まっている。 自動車関連は足もと弱めの動きとなっている。 機械・同関連部品等をみると、成形機は緩やかに増加している。計器、工作機械は持ち直している。バルブは堅調に推移している。 飲料は横ばい圏内の動きとなっている。	半導体関連・電子部品等は下げ止まっている。 自動車関連は足もと弱めの動きとなっている。 機械・同関連部品等をみると、成形機は緩やかに増加している。計器、工作機械は持ち直している。バルブは堅調に推移している。 飲料は横ばい圏内の動きとなっている。

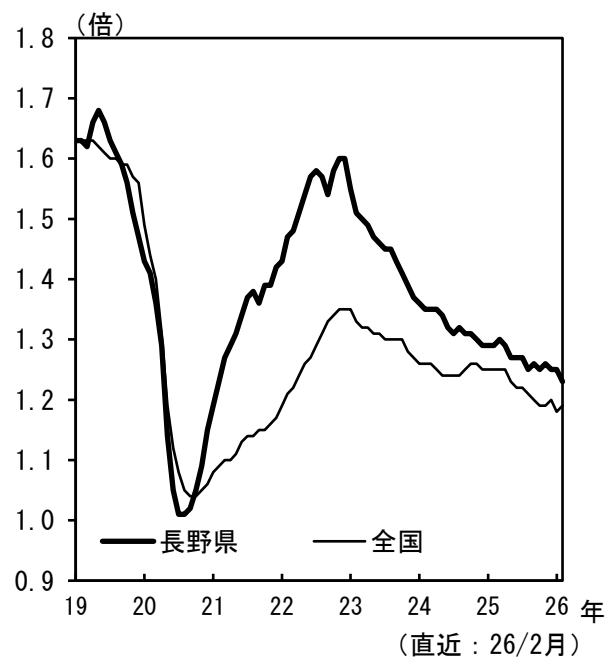
1. 実体経済

雇用・所得

雇用・所得は改善している。

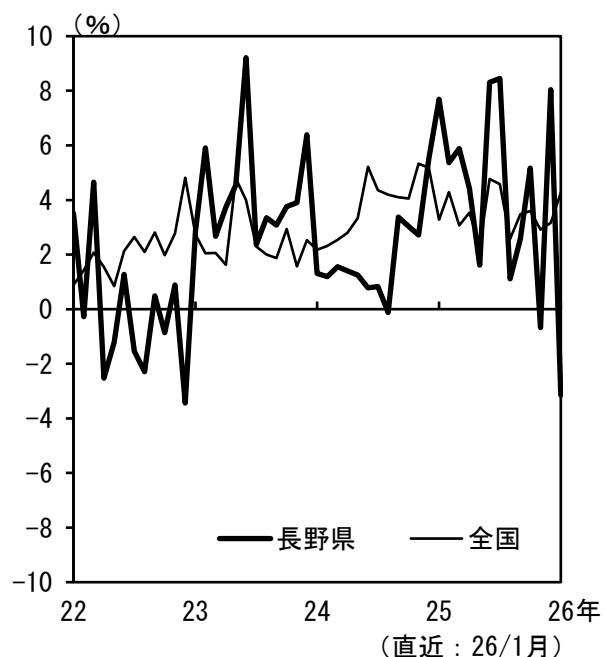
有効求人倍率は、足もと横ばい圏内の動きとなっている。雇用者所得は、増加基調となっている。就業者数は、横ばい圏内の動きとなっている。

▽ 有効求人倍率（季節調整済）



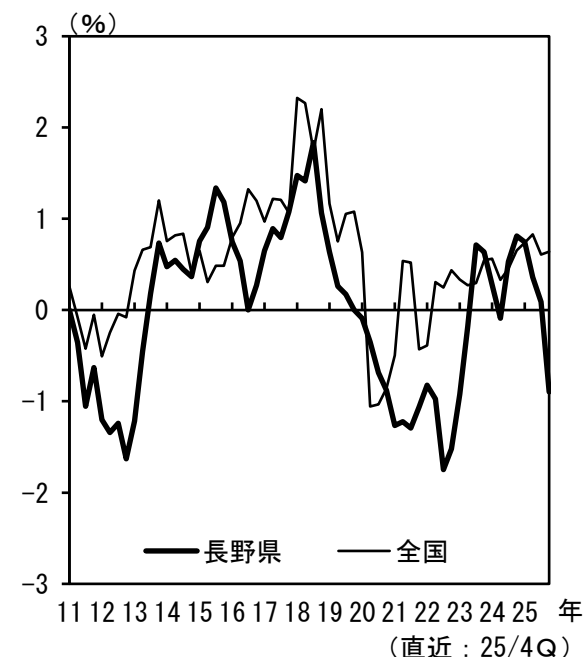
(出所) 厚生労働省、長野労働局
「職業安定業務統計」

▽ 雇用者所得（前年比）



(注) 現金給与総額指数×常用雇用指数の前年比。
(出所) 厚生労働省、長野県「毎月勤労統計」

▽ 就業者数（前年比）

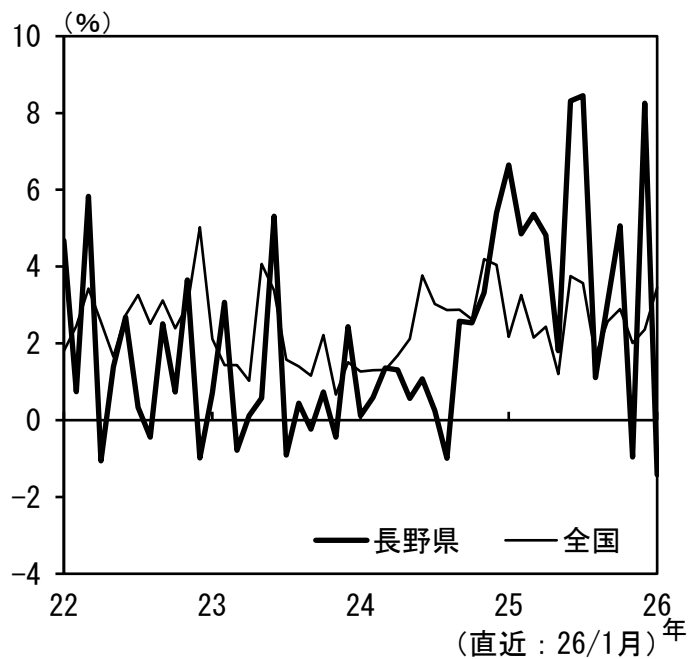


(出所) 総務省「労働力調査」

1. 実体経済

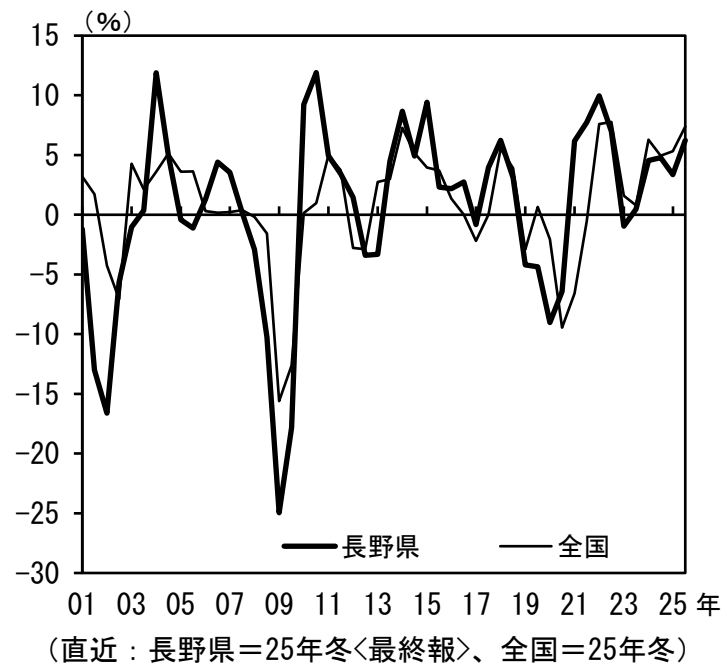
雇用・所得

▽ 名目賃金（前年比）



(出所) 厚生労働省、長野県「毎月勤労統計」

▽ 平均賞与妥結額（前年比）

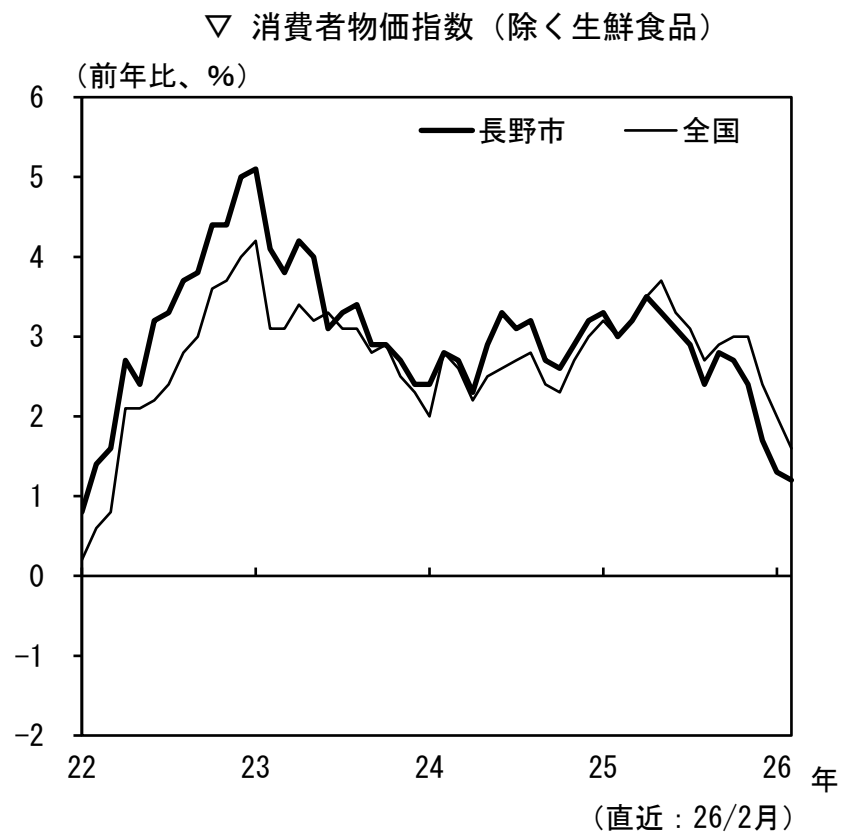


(出所) 長野県：長野県
「夏季・年末一時金要求・妥結状況調査」
全国：厚生労働省
「民間主要企業夏季・年末一時金妥結状況」

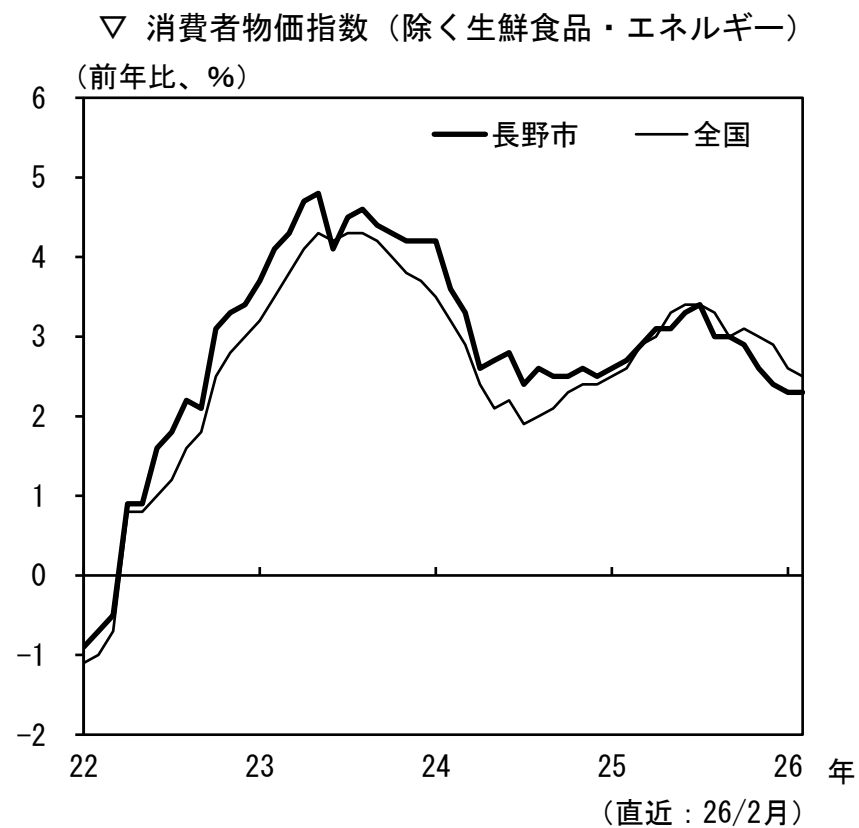
1. 実体経済

物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）をみると、26/2月は前年を上回っている。



（出所）総務省、長野県



（出所）総務省、長野県

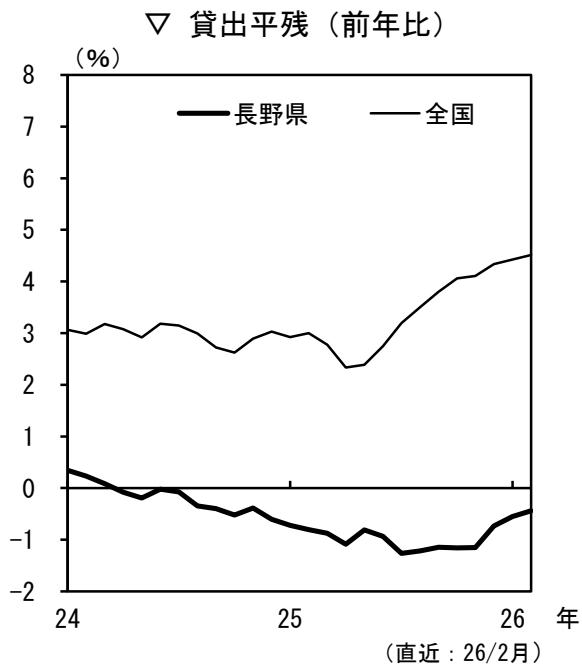
2. 金融

貸出金・預金

貸出残高は、前年比で0%台前半のマイナスとなっている。

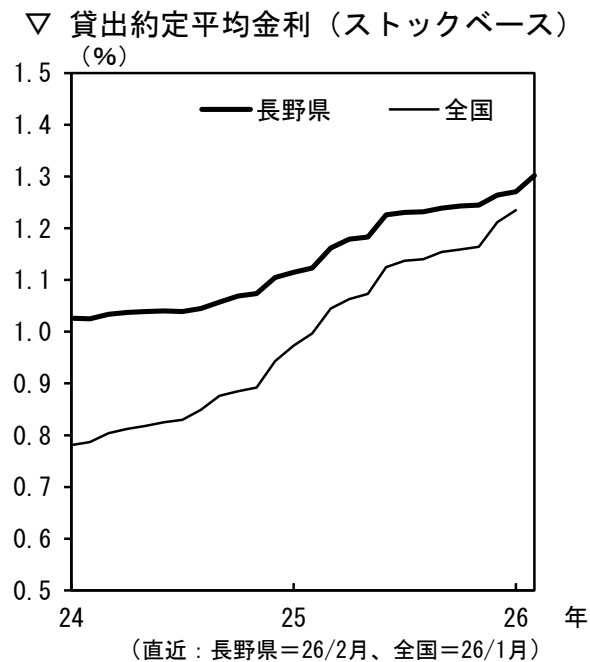
貸出約定平均金利は、緩やかに上昇している。

預金残高は、前年比で0%台前半のマイナスとなっている。



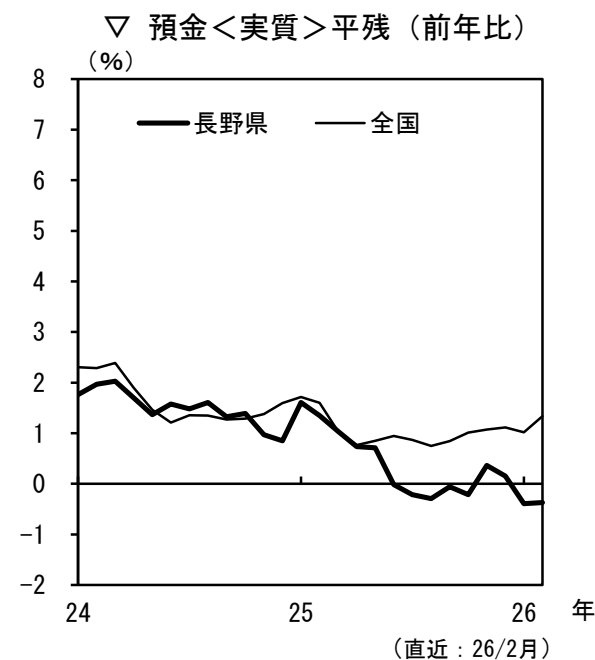
（注）・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ、信託3行（三菱UFJ信託、みずほ信託、三井住友信託）、あおぞら銀行、SBI新生銀行、信金の合計。
・「全国」直近データは速報。

（出所）日本銀行



（注）・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は銀行本体の設立根拠が国内法に準拠している銀行のうち、日本銀行と取引のある銀行（整理回収機構およびゆうちょ銀行を除く）。

（出所）日本銀行



（注）・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分（表面預金から切手手形を除いた額）。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ（表面預金から切手手形を除いた額+0）。

・直近データは速報。

（出所）日本銀行